



こどもエコクラブ

2024 年度事業実施報告書

地球のワクワク！発見しよう

～私が主役！なかまと一緒に未来を作る～



公益財団法人日本環境協会
こどもエコクラブ全国事務局
＜後援 環境省＞

目次

はじめに	2
こどもエコクラブのミッション・ビジョン	3
2024 年度のトピックス	4
事業報告	6
環境活動・環境学習に取り組むきっかけ作り.....	6
(1) こどもエコクラブの認知度向上	6
(2) こどもエコクラブへの登録促進	11
環境活動・環境学習の意欲向上	12
(1) ウェブサイト・メール等を通じた情報提供	12
(2) 教材・プログラムの提供	12
(3) 活動に対するフィードバック	15
(4) 企業・団体との連携および協働の推進	18
(5) ユース世代との連携	20
環境活動・環境学習のステップアップ	21
(1) 地域における活動活性化に向けたサポート	21
(2) 全国規模での交流と顕彰	22
(3) 他団体からの表彰	24
(4) アンケートによる子どもたちの成長の把握	25
地域事務局の取組事例	26
ご支援いただいた企業・団体	29
登録データほか	30
全国エコ活コンクール 受賞作品	34

はじめに

2024 年 5 月に閣議決定された第六次環境基本計画では、私たちが直面している気候変動、生物多様性の損失、汚染という地球の 3 つの危機を克服するために目指すべき最上位の目標として、「ウェルビーイング／高い生活の質」の充実が掲げられました。そのカギとなるのが、私たちが生きていく上での基盤である自然資本の維持・回復・充実であり、その実践の場となる各地域がその資源を活かした自立・分散してつながりあう「地域循環共生圏」です。

2024 年度、こどもエコクラブとして 9 万 8 千人の子どもたちが全国各地で様々な環境活動に取り組みました。その中でも生き物観察や在来種の保護など自然・生物多様性に関する活動は子どもたちにとって関心が高く、クラブの多くが継続的に取り組んでいます。これらの活動は子どもたちにとって楽しいだけでなく、身近な環境に関心を寄せ自然を大切に思い守ろうという意識の涵養となり、豊かな自然に囲まれた生活を尊く感じる価値観の育成につながっています。またその活動自体が自然保全の実践ともなっています。さらに子どもたちの活動への意欲、環境に対する思いの発信が地域の仲間や周囲の大人たちを巻き込む活動に発展しているケースも多数見られ、そのパワーは「地域循環共生圏」の実現につながる大きな推進力になっています。

2030 年までに達成すべきとして国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」は今や折り返し地点を過ぎ、2023 年に国連より出された中間報告でこれまでの進捗状況のレビューが行われました。その中で、日本の SDGs の認知度は 90%を超えて国際的にトップクラスであるにもかかわらず、達成状況が停滞していることがわかりました。今、その状況を打破するための行動加速が求められています。

こどもエコクラブは、子どもたちの主体的な環境活動・環境学習を 30 年もの間支援してきました。継続的に活動しているクラブへのアンケートでは、活動を通じて環境問題を自分事として捉える意識に加え、周りに挨拶をしたり進んで協力したりなどの積極的な態度や自主的な行動力が育まれていることが確認できました。2030 年の SDGs 達成へのドライブとなり、私たちの未来に向けた「新たな成長」の実践を担えるのは、まさにこういった力を持つ子どもたちと言えるでしょう。

こどもエコクラブ全国事務局は、多様な組織や人の参画と協力のもと、持続可能な社会を目指す強い意志と行動力をもった子どもたちを育て、その輪を更に大きく広げてまいります。

引き続き、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

公益財団法人日本環境協会 こどもエコクラブ全国事務局

2025 年 4 月

こどもエコクラブのビジョン・ミッション

「こどもエコクラブ」は以下のビジョンとミッションを掲げ、子どもたちが人と環境の関わりについて幅広い理解を深め、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の環を広げることが目的として、幼児（3歳）から高校生までの子どもたちを対象に、子どもたちの自主的な環境活動をサポートしています。

■ ビジョン（＝理想の未来）

だれでも参加できるこどもエコクラブが学校、市民グループ、企業等各主体をつないで、持続可能な地域社会に向けて活動を行っている。

■ ミッション（＝なすべきこと）

1. 環境学習・環境保全活動を通じて、子どもたちの「未来を創る力」を育てる。
2. 地域において環境に関心を持つ人を増やし、環境保全を促進する。

上記のビジョン・ミッションの下、継続的に

- 環境活動・環境学習に取り組むきっかけづくり
- 環境活動・環境学習の活性化
- 環境活動・環境学習の意欲の向上・ステップアップ

の3つの柱を掲げて、様々な活動に取り組んできました。



2024 年度のトピックス

全国フェスティバル、初の大阪開催！



「EXPO 2025 大阪・関西万博」を控えて気運を高めている大阪府と共催して、2011 年度以降継続的に東京で実施していた全国フェスティバルを大阪にて開催しました。初の大阪開催ということもあり、近畿圏のクラブの参加枠を広げた他、大阪府主催の「おおさかエコ活川柳・エコ標語」コンクール作品の展示・投票を行ったり、昼食メニューに大阪名物のたこ焼きを入れたりするなど、大阪での開催ムードを盛り上げました。さらに大阪市のクラブの中学生が元気な司会で大活躍！時折関西弁を交えた進行で朝早くから集まって緊張している参加クラブを和ませてくれました。午前午後で会場が分かれたことから屋外プログラム「てくてくラリー」を企画、大阪の3月下旬の春の陽気をみんなで満喫しました。また、今回初めて全国フェスに出展された近畿圏の企業団体には、こどもエコクラブの子どもたちの環境への思いや日頃の活動へのパワーを感じていただいたとともに、今後の連携に向けた関係性を構築することができました。



脱炭素につなげるプログラムの開発・展開



喫緊の課題である気候変動問題に対して子ども向けの教材が求められています。そこで、二十四節気の節目に天気や身近な自然環境に目を向け地域の気候変動の気づきを提供するプログラム「目指せ！こよみマイスター～二十四節気ハカセになろう～」を、ウェブサイトおよび SNS(Instagram)にて6月より開始しました。



また、東京都の取組「東京都こどもスマイルムーブメント」の「団体と自治体による協働事業」に協会として参加して、子どもの興味を引く「食べ物(カレー)」をテーマに脱炭素につながる食材選びを考えるプログラムを企画、八王子市にて実施しました。カードゲームで楽しみながら産地や輸送方法における二酸化炭素の排出量の違いや旬について学べる構成としました。昨年度同取組みにて開発した「葉っぱや樹木の働き」から脱炭素行動を考えるプログラムについては足立区の環境イベント内で実施しました。双方とも、子どもたちにとって関心の高いテーマを入口として脱炭素に向けたアクションにつなげるとともに、自治体の特性や要望にカスタマイズして展開することができる仕立てとなっています。今後は全国各地で展開を実施していく予定です。



ステークホルダーとの連携・協働による活動の充実

こどもエコクラブに関わる様々なステークホルダーとクラブが連携した活動が広がっています。

・こくみん共済 coop 〈全労済〉と協働してこどもエコクラブの全国一斉活動として実施している防災・減災プログラム「みんなで Bosai×Eco CAMP」は4年目となり、今回は災害に対する日々の備えの大切さや命を守り生き抜く行動について体験を通して学びました。活動を通じて感じたこと・考えたこと等をまとめた絵日記を募集、有識者による審査会にて優秀賞を選出・顕彰して、防災の重要性や災害時における安全な対応等を全国に発信しました。



・3R 推進月間(10月)に合わせ、3R の取組みの促進と活動報告投稿増キャンペーンとして「活レポ『R R R』推進キャンペーン」を実施しました。参加クラブには塩ビ工業・環境協会提供のリサイクルペンケースと3Rについて学べる冊子を送付し、循環型社会の大切さについて考える機会となりました。



・企業と地域クラブが共に行う森林保全活動を継続的に実施しており、プロントコーポレーションとは2017年度より、日の丸リムジンとは2022年度より毎年活動を行っています。



こどもエコクラブの受賞再び！エコマークアワード優秀賞

「消費者の環境を意識した商品選択、企業の環境改善努力による、持続可能な社会の形成」に向けて積極的に活動している企業・団体等を表彰する「エコマークアワード2024」（主催：エコマーク事務局（公益財団法人日本環境協会））において、三ツ星エコクラブ（新潟県魚沼市）が優秀賞を受賞しました。地域でのごみ拾いや家庭での節水・節電に端を発した取組みから消費活動に広がり、環境に配慮した商品の選択・購入を実践に加え、エコマークをはじめとした環境ラベルについて調べた内容やこれまでの活動の様子を環境フェアや壁新聞で広く発信していることが評価されました。



こどもエコクラブの受賞は2022年度に受賞に次ぐ2回目です。こどもエコクラブのポテンシャルの高さのみならず、日頃の取組みが自治体や地域にも広がっていく「こどもエコクラブの目指す姿」が具現化されています。

事業報告

環境活動・環境学習に取り組むきっかけづくり

(1) こどもエコクラブの認知度向上

● ウェブサイト、SNS を通じた広報

こどもエコクラブの事業紹介のほか、クラブからの活動レポートや全国フェスティバルをはじめとするイベント報告を掲載し、こどもエコクラブ事業全体のみならず個々のクラブの活動についても積極的に発信しています。

2024 年度の合計ページビュー：629,340PV

2024 年度の合計訪問者数：177,508 ユーザー

Facebook や X(旧 Twitter)など、SNS を活用したリアルタイムの情報発信も行っています。



Facebook (2025 年 3 月)
「いいね!」: 1,322 件
フォロワー: 1,366 人



各地域別 X
地域に合わせた情報を発信
合計フォロワー数: 3,014 人



Instagram
日々のトピックスを画像で発信
フォロワー: 482 人



● 外部メディアの活用

活動や事業のトピックスについて、適宜環境省・文部科学省など官公庁の記者クラブや地方紙等にプレスリリースを行いました。壁新聞の受賞や地域での子どもたちの様子を中心に各紙・メディアに取り上げられました（主なものを抜粋）。

日付	メディア名	記事タイトル(掲載クラブ)
2024 年 4 月 6 日	釧路新聞	エコクラブくしろ大臣賞（こどもエコクラブくしろ：北海道）
2024 年 4 月 10 日	中日新聞	海ごみの深刻さを壁新聞で訴える（魚と子ども kids クラブ：三重県）
2024 年 6 月 14 日	茨城新聞	偕楽園ホテル再生へ（逆川こどもエコクラブ：茨城県）
2024 年 6 月 27 日	毎日新聞 (web)	～「白水阿弥陀堂」のハスを守れ！～こどもエコクラブ 子どもたちの想いが地域の活動に発展・地域と協働で 7 月にハス植え付け（いわき市立高坂小学校 SDGs 隊：福島県）
2024 年 7 月 9 日	福島民報	白水阿弥陀堂のハスの再生へ、児童が苗植え 福島県いわき市（いわき市立高坂小学校 SDGs 隊：福島県）
2024 年 8 月 26 日	茨城新聞	こどもの環境活動表彰（逆川こどもエコクラブ：茨城県）
2024 年 9 月 6 日	日刊工業新聞	子どもと植林、自社の成長に 日の丸リムジン（竹の子エコクラブ：埼玉県）
2024 年 9 月 11 日	長崎新聞	「美しい自然守りたい」佐世保の黒田美也さん、藍美さん姉妹 水質調査など活動多彩（だいやエコクラブ：長崎県）
2024 年 12 月 20 日	新潟日報	C O 2 削減を家族で発信、新潟県魚沼市の「三ツ星エコクラブ」に優秀賞！エコマークアワードで地道な活動評価（三ツ星エコクラブ：新潟県）
2025 年 1 月 14 日	海と日本プロジェクト(web)	親子で参加！岡谷こどもエコクラブとともに奈佐の浜で海洋ゴミをきれいに 日本財団 海と日本 PROJECT in 長野（岡谷こどもエコクラブ：長野県）
2025 年 1 月 17 日	高知新聞	香長小 5 年の西山さん、環境日記コンテストで金賞 エコで地震に強い家考える 香美市エコクラブ所属（香美市こどもエコクラブ：高知県）
2025 年 2 月 7 日	福井新聞	環境保全の大切さ、小学生が工作やゲームで理解 鯖江市嚮陽会館で「こどもエコクラブ活動交流会」（鯖江市内のクラブ：福井県）
2025 年 2 月 28 日	西日本新聞	「全国エコ活」壁新聞、福岡市の団体が最優秀賞 大牟田市の幼稚園も入賞（ぶらぶらあぶらクラブ、認定こども園たから幼稚園こどもエコクラブ：福岡県）
2025 年 2 月 28 日	東奥日報	こどもエコクラブ「全国エコ活コンクール」の受賞者決定（HEP21 エコクラブ：青森県）
2025 年 3 月 5 日	埼玉県ウェブサイト	2024 年度こどもエコクラブ「全国エコ活コンクール」で「MIYASHIRO エコ☆スターズ」（宮代町）がタカラトミー賞を受賞（MIYASHIRO エコ☆スターズ：埼玉県）
2025 年 3 月 6 日	沖縄タイムス	南城の海岸 51 人ごみ拾い（ECO HONU（エコホヌ）：沖縄県）
2025 年 3 月 7 日	有明新報	バナナ栽培の記録観察（認定こども園たから幼稚園こどもエコクラブ：福岡県）
2025 年 2 月 9 日	井原市サイト	伊勢ヶ丘こどもエコクラブの火起こし体験（伊勢ヶ丘こどもエコクラブ：岡山県）
2025 年 3 月 18 日	岐阜新聞	1 年の環境活動パネルに 岐阜市 子どもエコクラブ 9 団体展示（岐阜市内のクラブ：岐阜県）
2025 年 3 月 21 日	陸奥新報	だんぶり池カレンダー今年も／H E P 2 1（HEP21 エコクラブ：青森県）
2025 年 3 月 29 日	福島民報	全国エコ活コンクール 壁新聞受賞（いわき市立高坂小学校 SDGs 隊：福島県）



壁新聞の公開と賞状授与（左から）

釧路新聞
(2024.4.6)

エコクラブくしろ大賞

金沢市環境局
環境政策課

壁新聞部門
大賞受賞報告

「エコクラブくしろ」は、市内各地に点在する「エコクラブ」の活動や、環境に関する情報を発信する壁新聞を制作・発表する。今年度は、市内各地の「エコクラブ」が、壁新聞を通じて、環境に関する情報を発信し、市民の環境意識を高めることに貢献した。壁新聞は、市内各地の「エコクラブ」が、環境に関する情報を発信し、市民の環境意識を高めることに貢献した。壁新聞は、市内各地の「エコクラブ」が、環境に関する情報を発信し、市民の環境意識を高めることに貢献した。



中日新聞(2024.4.10)



茨城新聞(2024.6.14)



日刊工業新聞(2025.9.6)



西日本新聞(2025.2.28)



福島民報
(2025.3.29)



沖縄タイムス(2025.3.6)



有明新報(2025.3.7)

● ステークホルダーによる発信

地域事務局（自治体）や子どもエコクラブを支援くださっている企業団体からも、メンバー募集やクラブとの活動内容等について発信いただきました。



石巻市 メンバー募集チラシ



三芳町 広報みよし



第一園芸 プレスリリース



ユネスコ・アジア文化センター ウェブサイト



タカラトミー ウェブサイト



象印マホービン ウェブサイト



こくみん共済 coop〈全労済〉 ウェブサイト



アポクリート ウェブサイト

● イベントへの出展・参加

自治体等が主催する環境イベント(オンライン含む)に参加・出展しました。こどもエコクラブ事業の紹介や楽しく活動するクラブの写真、活動を通じた子どもたちの成長の様子の展示などを行い、参加・登録を呼びかけました。

実施日	イベント名	主催者	内容
2024 年 7 月 28 日	よってたかって香美市でエコ！ 2024	「よってたかって香美市でエコ！ 2024」 実行委員会	YES NO チャートでピッタリのエコ活動タイプを診断して、全国のこどもエコクラブの各タイプの活動レポートを紹介
2024 年 9 月 7 日	第 18 回環境科学展	札幌市青少年科学館	こどもエコクラブの紹介と、大雨や水害から身を守るための行動について考えるクイズや防災コップ作り等のコンテンツを展示
2024 年 11 月 10 日	大磯町環境フェア「宝の山祭」	大磯町	YES NO チャートでピッタリのエコ活動タイプを診断して、全国のこどもエコクラブの各タイプの活動レポートを紹介
2024 年 12 月 1 日	ESD 推進ネットワーク全国フォーラム 2024	ESD 活動支援センター、文部科学省、環境省	クラブの活動を通じた子どもたちの成長・未来を創る力に関するアンケート結果の紹介【パネル展示】
2024 年 12 月 4～6 日	エコプロ 2024	(一社)サステナブル経営推進機構、日本経済新聞社	「水」「虫」「町」「食」「地」をテーマにした 5 種類のエコ活動を紹介するおみくじを実施、全国のクラブの各タイプの活動レポートを紹介
2025 年 2 月 1～23 日	第 23 回草津市こども環境会議	滋賀県草津市	クラブの活動を通じた子どもたちの成長・未来を創る力に関するアンケート結果の紹介【パネル展示】



よってたかって香美市でエコ！
2024



第 18 回環境科学展



大磯町環境フェア「宝の山祭」



エコプロ 2024

● 広報ツールの貸出

地域事務局（自治体）等に、広報ツール（前年度の壁新聞、エコまる旗、エコまる着ぐるみ等）を貸し出しました。

（旗等：5 ヶ所、エコまる着ぐるみ：2 ヶ所、壁新聞 8 ヶ所、スタッフジャンパー：2 ヶ所）



(2) こどもエコクラブへの登録促進

環境活動を行う幼児（3歳）から高校生の子どもと、子どもたちの活動を支援する大人（サポーター）で構成したクラブの登録を受け付け、一元的な情報管理を行いました。

2024年度の登録数は、クラブ数：2,385クラブ、メンバー数：97,955名、サポーター数：20,217名でした。クラブ数は弊協会自主事業となった2012年度以降最大値となり、これまでの延べ登録メンバー数は約308万人となりました。

登録数の増加を目指し、以下のような取組みを行いました。

● ポスター・チラシの配布

本事業に賛同して地域事務局として登録した地方自治体および関係方面に、クラブの募集ポスター、チラシを希望数配布しました。また、希望する自治体には版下用データを送付し、地域事務局名を入れた独自のポスターを制作できるようサポートしました。なお、チラシについてはこどもエコクラブウェブサイト内でも掲載し、適宜ダウンロードできるようにしました。



左：ポスター 右：チラシ

併せて、子どもの教育支援をしている団体やウェブサイトにて環境イベントを紹介した施設・団体を通じ、チラシを配布いただくなどして積極的に登録を働きかけました。

加えて、東京都など複数の自治体の小学校で配布される子ども環境情報紙「エコチル」にメンバー募集の広告を掲載し、小学生および保護者に登録を呼びかけました（広告掲載期間：2024年4月～2025年3月）。また、「エコチル」が運営するYouTubeチャンネル「エコチルライブ」にこどもエコクラブ（3クラブ）が出演し、取り組んでいる活動を紹介して、全国に活動の意義と登録を呼びかけました。



エコチル掲載広告



エコチルライブ アーカイブ動画

● メンバーズバッジの自治体配布

希望のある自治体に対して、こどもエコクラブメンバーの証であるメンバーズバッジを送付し、管下クラブに配布いただきました。子どもたちの一体感醸成と活動のモチベーション向上に役立っています。



メンバーズバッジ

環境活動・環境学習の意欲向上



(1) ウェブサイト・メール等を通じた情報提供

サポーター向けコンテンツとして、環境省が実施するイベントや地域別イベント、助成金情報等の掲載を行っています。これらを含めた更新情報を取りまとめてお知らせするメールマガジン「サポーターメール・マガジン」を月2回配信しています。

(2) 教材・プログラムの提供

● 手帳、エコカード等の配布

子どもたちの活動への意欲・継続意識の増進を目的として、日頃の活動を記録するメンバー手帳を、希望するメンバーに実費頒布しました。また、小学校入学前のメンバーを対象としたツール「ぼくの/わたしのエコカード！」を希望する未就学児がいるクラブに送りました。エコカードにはSDGsのアイコンを表示し、保護者・保育者のSDGsに関する認知・理解の向上を促しています。

サポーター(大人)向けには、事業趣旨や活動時の支援内容等を記載した「応援マニュアル」(PDF)をウェブサイトに掲載して随時ダウンロードできるようにしました。

メンバー手帳

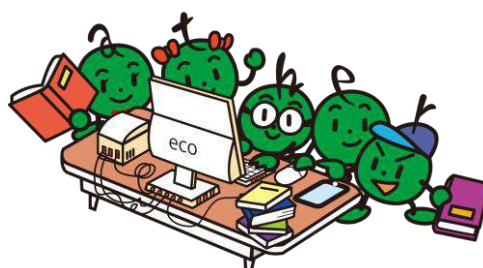
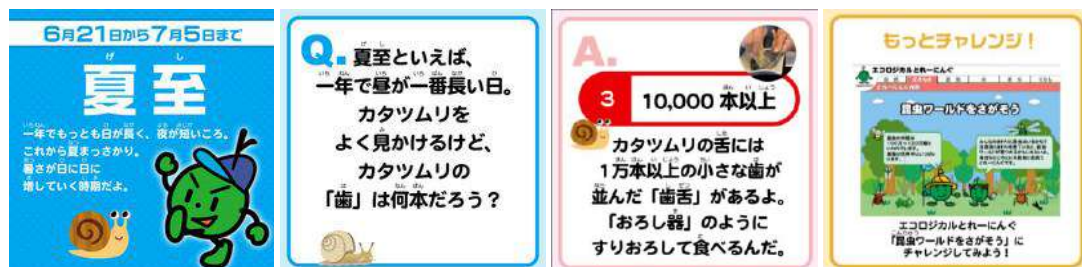


サポーターメール・マガジン



● ウェブサイトを通じたデジタル教材の提供

二十四節気の節目に天気や身近な自然環境に目を向け地域の気候変動の気づきを提供する「目指せ！こよみマイスター〜二十四節気ハカセになろう〜」を、ウェブサイトおよびSNS(Instagram)にて実施しました。子どもが楽しくチャレンジできる三択クイズのほか、Instagramのコメント欄にて参加者が投稿・交流ができる場を提供しました。





● 多様な主体との協働プログラムの実施

企業・団体と連携した講座やプログラムを企画、協働により実施しました（カッコ内は連携・協働相手の企業・団体）。

【全国的なプログラム・活動】

① みんなで Bosai×Eco CAMP（こくみん共済 coop〈全労済〉）



2021 年度より継続的にこどもエコクラブの「全国一斉活動」として実施している防災プログラムです。今年度は「命を守り生き延びよう」をテーマに、部屋の安全や防災標識の確認に加え、常に携帯できる防災ポーチづくりや身の回りにあるものでできる応急処置などを取り上げました。普段のくらしを見直すエコ活動にもつながる本プログラムには、153 クラブ、2,988 名のメンバーが参加しました。

活動を通じて感じたこと・考えたこと等を記載した絵日記の募集には全国から 115 の応募がありました。優秀賞を受賞したメンバーは、東京都の防災体験学習施設「そなエリア東京」にて表彰を受け、館内の体験ゾーンで防災の重要性や災害時における安全な対応等について学びました。

〈活動期間〉2024 年 8 月 1 日（木）～2025 年 1 月 31 日（金）

〈防災活動レポート 表彰式〉2025 年 3 月 15 日（土）



② こどもエコクラブ 活レポ「R R R」推進キャンペーン（塩ビ工業・環境協会）



3R 推進月間(10 月)に、3R の取組みの促進を目的としてキャンペーンを実施しました。読み終わった本やサイズが合わなくて着なくなった服、使わなくなったおもちゃなどを譲り合う(リユース)活動や海岸や浜辺の漂着物やゴミの分別・調査を通して海洋ごみについて考えたクラブなど、28 クラブ・365 人のメンバーとサポーターが参加して循環型社会について学びました。



【企業団体と地域のクラブとが関わり合うプログラム・活動】

① トヨタ環境こどもプログラム トンボ篇（トヨタ自動車）

トヨタ自動車社員が講座を行う、身近なトンボを題材に生き物や自然の大切さを学ぶプログラムに参加しました。トンボの生態についてクイズやマンガで考え、工場内のビオトープの環境や暮らしている生き物の話を聞く室内プログラムと、小石川後樂園で自然観察を行いました。話を聞いた後の体験活動は子どもたちにとって興味深く、新しい発見につながっていました。



② プロントコーポレーション こどもエコクラブ 緑の活動（プロントコーポレーション）

2016 年から継続的に全国各地のプロントコーポレーションの社員と当該地域のクラブとが協働した森林保全活動を実施しています。2024 年度は、6 月に埼玉県・11 月に大阪府で植樹や伐採、下草刈りなど森を育てる活動を行いました。また、ネイチャーゲームを通して森でくらす生き物や植物について学びました。



③ 日の丸リムジン&こどもエコクラブ SDGs 森の活動（日の丸リムジン）

日の丸リムジンが新入社員研修の一環として実施している植樹活動に 2023 年度からこどもエコクラブも参加しています。2024 年度は日の丸リムジンの SDGs の取組みとクラブの日頃の活動を紹介しあう時間も設け、コミュニケーションを深めました。



その他三菱電機が実施する「野外教室」や生物同定アプリ「バイオーム」を利用した生き物観察プログラム「生きものみつけクエスト」への参加など多数の企業団体との様々な協働活動が広がっています。



(3) 活動に対するフィードバック



● 活動レポートへのエールメッセージ

クラブから日々寄せられる活動レポートに対して、弊協会のこども環境相談室の相談員より活動の発展につながるコメントやアドバイスを「エールメッセージ」として、投稿後 2 週間以内に送付しています。2024 年度は 1,021 件の投稿にメッセージを送りました。

＜活動レポートとエールメッセージの例＞

エコエコ楽しみ隊（東京都） 活動日：2024 年 9 月 18 日

○プールのエコアップ大作戦～ワラを浮かべてトンボをよぼう！～

水泳の授業が終わったプールにトンボが卵を産みに来ます。水面に直接卵を産む種類もいれば植物に卵を産みつける種類もあります。そこで、自分たちの学校のプールにやって来るトンボや水生昆虫の生態、また「エコアップ」について学習し、イカダにワラをつけて学校のプールに浮かべる活動をしました。

また部屋に戻った後は、サポーターが図書館から借りた様々な水生生物の「写真絵本」を時間いっぱい読みました。

＜参加者のようす＞

イカダは、束ねたワラとペットボトル(浮き)を木の枠に取り付けて完成、みな一生けん命に取り組んでいました。今年の 3 年生はヤゴレンジャーの方々と一緒に 6 月に「ヤゴ救出」、9 月に「プールのエコアップ」を行っており、自分たちが来年の 3 年生への橋渡し役であることをよく理解しているようでした。

以下、メンバーの言葉です。【トンボさんへ】来年の 3 年生のためにもがんばって!! (3 年生)/がんばっていっぱいたまごをうんでね。/早く飛んでいるのにどうしてつかれないの? /そらをとぶのきもちいい? 【はじめて知ったこと】トンボがワラにたまごをうむ(2 年生)/ペットボトルが浮きになること。【その他】ヤゴレンジャーになりたい。

＜感想・気づいたこと・考えたこと＞

毎年 6 月、3 年生が「プールのヤゴ救出大作戦」を授業で行い、教室や家庭でヤゴを育てる体験をしています。またエコクラブでヤゴの観察や「プールのエコアップ」を行っているので、自然の少ない都会でも子どもたちは生き物を身近に感じてくれているようです。これからもこの貴重な体験学習の場を絶やさないようサポートしていけたらと思っています。



○エールメッセージ



エコエコ楽しみ隊のみんな、エコアップ大作戦の報告ありがとう！

開けた水面が少ない街中で、パッチ状に分布するプールは、トンボなどの昆虫の格好の産卵場になります。今回は、プールにワラ束を浮かべてみることにしました。皆さんが調べた通り、トンボは、水面に直接卵を産む種類もいれば、植物に卵を産みつける種類もあります。おそらく今年は、違う種類のヤゴがたくさん見られるようになるでしょう。

大きな種は、小さな種を捕食してしまうこともあるようです。ワラ束を入れることで、種類が増えるのか、それとも種が入れ替わってしまうのかも、興味あることです。どんなヤゴがみられるか、ぜひ比べてみてください。それから、活動を続けることは大切です。次の学年への引継もうまくいっているようですね。引き続きの投稿を待っていますよ ^ ^

● 壁新聞道場！における作品へのコメント

2023 年度のエコ活コンクールに応募して提出された壁新聞全 120 作品に対して、弊協会のこども環境相談室の相談員より、壁新聞のまとめ方や効果的な伝え方、活動の発展につながるコメントやアドバイスを「壁新聞道場！」としてウェブサイトで紹介しました。地域事務局からのメッセージも併せて掲載しました。

<壁新聞と「壁新聞道場！」でのコメント例>

西表ヤマネコクラブ（沖縄県）



○地域事務局からの応援メッセージ

自然と親しみながら環境についてみなさんで考えていることが伝わってくる壁新聞ですね！みなさん、すばらしい1年を過ごしています。毎年のことですが、数字がしっかりしているだけでなく過去と比べてどうであったか、それについてどう思ったかが、よくまとめられています。また、見出しや記事の配置にも工夫があり、充実した内容が見やすく、きれいに仕上がっています。毎年行っているサバイバルキャンプでもみなさんの言葉や写真を一つ一つ、じっくりと見たくなってしまう。これからも楽しみながら活動をし続け、発信していきましょう！（沖縄県）

新しいメンバーも先輩から教わりながら様々な経験を積むことができました。特に、毎年継続している取り組みは変化をとらえ要因を考える科学的、論理的な思考がしっかりしていて素晴らしいと思いました。「山の日」全国大会は47年に1度の大舞台での発表おめでとうございます。この経験を自信にしますますのご活躍に期待します。

（竹富町）

○師範から一言！

世界を代表する西表の自然豊かな環境にあって、詳細な自然観察と活動内容などが発表されていて、とても充実した壁新聞となりましたね！みなさんが西表の自然をととても大切に、その恵みを得ていることを強く感じました。特に新聞の名前ともなっているイリオモテヤマネコについて、これまでの学習を踏まえて実際にフィールドにでて体験活動をおこなったことが書かれていましたが、実際に目にすることで視野や考えが広がっていることがとてもよく説明されていますね。またその他の記事でも、グラフや地図などをうまくつかいながら、調査結果を自分たちで考察し、わかりやすく発表されています。他の地域との比較によって、より地域に自然の魅力も感じられたようですね。とても素晴らしい成果です。

その中で私が特に興味津々で読ませてもらったのは、「サバイバルCAMP！！」です。西表ならではの食材をつかったメニューや、珍しい名前の滝、専門家とのナイトツアーなど、ほんとうに素敵に感じました。研究的な知見、体験を通じた感動、地域ならではの魅力、そして西表ヤマネコクラブだからこそできた素敵な発表だと思います！

○とっておきのゴシドゥ

今回の壁新聞を読んで西表の環境は、独特の自然環境をもった大切な自然であることが大変よくわかりました。また皆さんがそうした自然環境をわかりやすく、そして具体的に発表していることにも、とても感心しました。特に新聞の真ん中にあるホテル観察のMAPが目立ちました。新聞の中の地図は、具体的にその地域を理解するのにとても役立ちました。

それから今回壁新聞を読んで、珍しい地名や川の名前がでてきてとてもわくわくしました。こうした地域を示す自然が地域のどんな場所にあるのかわかるように地図上で示してみるのも、自然環境をより詳しく紹介するのに便利です。川のガイドツアーも行っているということで、すから地図で紹介しているかもしれませんが、ぜひ壁新聞でも地図と活動をつなげて紹介してみてください。他の地域の人が見ても、きっと宝の地図のように素敵なものができあがると思います！

(4) 企業・団体の実施するプログラムの広報・提供



様々な企業・団体が主催するコンクール等でこどもエコクラブと連携いただきました。ウェブサイトやメールを通してサポーターや地域事務局にそれらのプログラムを広報し、子どもたちに参加を呼びかけました。

● アシストプログラム

パートナーになっていただいている企業・団体や、地域事務局の自治体の環境学習教材やプログラム等を「アシストプログラム」としてウェブサイトで紹介、クラブに参加を呼びかけています。

区分	団体名	プログラム名	対象地域
資料・教材	キリン	キリングループ×「環境マークプログラム」コラボプロジェクト	全国
	タカラトミー	遊んで学べる「エコかるた」	全国
	ジーエス・ユアサ バッテリー	しげるくんエコ大使	全国
	日本 C C S 調査	地球温暖化対策のスゴイ技術「CCS」を学ぼう！	全国
	日本 W P A	教科書ってどうやって作るの？～環境にやさしい水なし印刷のお話～(動画)	全国
	トヨタ自動車	節水について楽しく学ぼう！節水 BINGO カードの提供	全国
	JBRC	小型充電式電池がまるわかり！キッズアイランド	全国
	HOYA アイケアカンパニー（コンタクトのアイシティ）	アイシティ eco プロジェクト	全国
体験・学習プログラム	岡山県	おかやま環境学習プログラム集	岡山県内
	大阪府東大阪市	東大阪市環境教育出前講座	東大阪市内
	キリン	工場見学ツアー（全 6 ヶ所）	工場の近隣地域
	三菱電機	バイオームを使った「生きものみつけ」	全国
	トヨタ自動車	まなびと遊びの体験を紹介！（オンラインコンテンツ）	全国
各種コンテスト	出光興産	第 20 回環境フォト・コンテスト[わたしのまちの〇と×]	全国
	ジーエス・ユアサ バッテリー	第 16 回 GS ユアサ 小学生 ECO 絵画コンクール	全国
	山田養蜂場	第 12 回「ミツバチの一枚画コンクール」	全国
	3 R・資源循環推進フォーラム	令和 6 年度 3R 促進ポスターコンクール	全国
	サントリービバレッジソリューション	第 14 回「ぼくとわたしのリサイクル」作文コンクール	全国
	ブリヂストン	第 22 回ブリヂストンこどもエコ絵画コンクール	全国
体験・学習イベント	産業環境管理協会 資源・リサイクル促進センター、3 R・資源循環推進フォーラム	SDGs チャレンジ「ロスフラワーをアップサイクルしよう」	東京都
	キリン	キリン・スクール・チャレンジ	全国
	トヨタ自動車	トヨタ環境こどもプログラム トンボ篇	全国
	東大阪市	東大阪市環境教育出前講座	東大阪市内
キャンペーン	JBRC	JBRC リサイクルクイズキャンペーン 2024	全国

● 他団体のイベント・キャンペーン情報の提供

様々な団体が実施するイベントやキャンペーンの情報をウェブサイトやメールマガジンで発信しました。これらの情報提供はクラブに役立つだけでなく、主催する団体にこどもエコクラブのことを知ってもらう良い機会にもなっています(主なものを抜粋)。

掲載日	主催団体・組織	内容
2024年6月26日	環境省	環境教育・ESD 実践動画 100 選
2024年7月10日	コカ・コーラ教育・環境財団	第30回コカ・コーラ環境教育賞
2024年7月10日	日本自然保護協会	「日本自然保護大賞 2024」
2024年7月19日	大阪府	「おおさかエコ活川柳・エコ標語」
2024年8月2日	Green Blue Education Forum 実行委員会	第5回 Green Blue Education Forum コンクール 2024
2024年8月26日	こども教育支援財団	第16回環境教育ポスターコンクール
2024年10月25日	日本環境教育学会	2024年度「第3回 2050年の社会とわたしたちの暮らし」
2025年2月14日	全国水環境マップ実行委員会	第22回「身近な水環境の全国一斉調査」

● ステークホルダーミーティングの実施

こどもエコクラブをご支援いただいている企業・団体、地域で熱心に活動している各地のクラブサポーター等を対象に、オンラインにて「環境省 こどもエコクラブステークホルダーミーティング 2024」を実施しました。第六次環境基本計画にも盛り込まれた「ウェルビーイング」を取り上げ、有識者によるご講演や国の取組み紹介、企業団体やクラブの事例発表を通じて情報共有・交換を行いました。

【日時】2025年1月14日（火） 15:00～17:00

【主催】環境省、公益財団法人日本環境協会

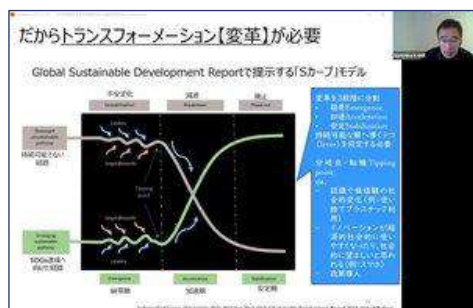
【主なプログラム】『ウェルビーイングと環境』

・環境トピックス「未来の常識 SDGs から始まる世界」

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 教授 蟹江 憲史氏

・企業の事例発表「生物多様性の取り組み事例」 加山興業株式会社

・クラブの事例発表「ヒメボタルの保護と竹林整備」 高槻市立第六中学校・自然観察同好会(大阪府)



(5) ユース世代との連携



こどもエコクラブのOB・OGを中心とした、こどもエコクラブでの活動経験のある若者のネットワーク「All Japan Youth Eco-club」や大学の環境活動サークルと連携し、こどもエコクラブのサポートおよびユースメンバー同士の交流、イベント等の企画を行うなど、様々な活動を進めています。

● 地域交流会・全国フェスティバルのサポート

10月に開催された「大阪 ATC こどもエコクラブ交流会」では、受付をはじめ司会に進行のフォローと、参加者みんなの交流が充実するよう細やかにサポートしました。

3月の「こどもエコクラブ全国フェスティバル 2025」では前日の会場設営から当日の司会や表彰式対応、エコ活セッションのファシリテーションに会場内の誘導、後片付けなどほぼ全てのシーンで大活躍！フェスに参加した現メンバーにも憧れの素敵な先輩としてしっかりと印象に残ったようです。子どもたちや企業団体へのスムーズな応対や臨機応変に動ける判断力など、ユース世代のパワーを改めて感じることができました。



大阪 ATC こどもエコクラブ交流会



● ウェブサイト「ユースが行く！」の連載

地域交流会や全国フェスティバルなどのサポートを通じて感じたこと、心がけたことなどを報告する記事「ユースが行く！！」を2回、ウェブサイトに掲載しました。

● オンライン交流会への参加

クラブの活動を発表しあうオンライン交流会に、10年以上前から継続的に連携している早稲田大学環境ロドリゲス ecoSMILEの大学生に参加いただきました。クラブとともに日頃の活動を紹介しあい、子どもたちに大きな刺激をいただきました。



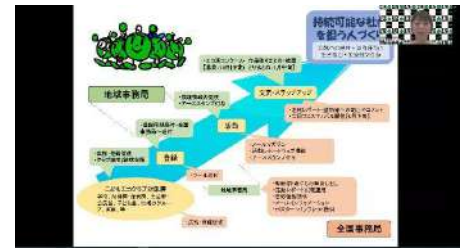
環境活動・環境学習のステップアップ



(1) 地域における活動活性化に向けたサポート

● コーディネーター説明会

地域で活動するクラブにとって、一番身近な応援団となってくれるのが地域事務局の担当者（コーディネーター）です。年度が替わり新しくこどもエコクラブ担当となった方々を対象に、事業概要や全国の自治体でのサポート事例などをご紹介しますコーディネーター説明会を5月、6月、7月の全3回オンラインで実施しました。



子どもたちの活動を見守り支援することで地域の環境活動の把握や環境施策を進める際のネットワーク作りにも役立つことをご紹介します。

● 地域の企業・団体とクラブとの協働プログラム



こどもエコクラブとともに地域の環境活動・人材育成を盛り上げたいという地域事務局、他のクラブや団体と連携してもっと活動を活性化したいというクラブを対象にした「協働プログラム」を展開しています。2024年度は滋賀県草津市の「天気村こんべいとうクラブ」と地域のスーパー等を運営するバローホールディングスとの協働プログラムを行いました。魚をおろして食べる体験を通じて、「命をいただく」「残さず食べる」ことを学び、命のつながりと食品ロスについて考える機会の提供とともに、地域で環境に取り組んでいる企業とクラブとのネットワークを育みました。

● 自治体による研修会・サポーター交流会・クラブ交流会

地域事務局でもコーディネーター研修会やサポーター交流会、地域のクラブが集う交流会を多数開催いただきました。地域で活動する子ども達がお互いに交流することで活動の意欲や自分たちの町や自然を大切に思う意識が高まり、サポーター・コーディネーターが自分たちの役割を再認識することで今後のサポートへのモチベーションが高まる機会となっています。



群馬県 サポーター研修会



滋賀県 クラブ交流会



岡山県 環境学習会

(2) 全国規模での交流と顕彰

● 全国エコ活コンクール

こどもエコクラブをはじめ全国の環境活動を行う子どもたちのグループを対象に、子どもたちが日頃のエコ活動をまとめることによって、活動を通して感じたことなどをふりかえるとともに新たな気づきを得るきっかけとすることを目的とした「全国エコ活コンクール」を実施しました。

「独創性」、「発展性」、「アピール力」、「地域への密着度」を選考基準として、子どもたちが作成した壁新聞・絵日記・デジタル作品について有識者、各省庁担当官、企業担当者等からなる「選考委員会」が審査を行い、壁新聞には環境大臣賞、文部科学大臣賞、日本環境協会賞、大阪府知事賞、協賛企業賞を、絵日記・デジタル作品には優秀賞を選定しました。

【概要】

- ・募集期間：2024 年 10 月 1 日～2025 年 1 月 10 日
- ・対象：全国のこどもエコクラブ、環境活動を行う子どものグループ
- ・仕様：壁新聞部門－模造紙大または A2 サイズ、縦横自由、
絵日記部門－A3 サイズ、縦
デジタル部門－パワーポイント：8M 以内、動画：3 分以内
- ・募集結果：壁新聞 応募数：125 枚
絵日記 応募数：274 枚
デジタル作品 応募数：14 作品
- ・審査結果：受賞作品は P.34 参照



壁新聞部門 環境大臣賞受賞作品

● アースレンジャー認定証の授与

1 年間に 5 回以上の活動を報告したメンバー（1,094 名：2025 年 3 月末現在）に「アースレンジャー認定証」を贈呈しました。また、3 年間継続活動をしているメンバー（277 名）には銀バッジを、6 年間継続活動をしているメンバー（90 名）には、金バッジを贈呈しました。



アースレンジャー認定証と
金・銀バッジ



●「こどもエコクラブ全国フェスティバル 2025」の開催

各地域で展開している活動を子どもたちが紹介しあうことで環境人材の育成を図るとともに、環境保全活動の定着・拡大を目的として、全国フェスティバルを大阪府と共催にて実施しました。全国エコ活コンクールにて選ばれた都道府県代表クラブ、各作品の受賞クラブ・受賞者等が参加し、子どもたちの活動発表・交流や環境に関する企業・団体展示ブースの見学と、同コンクールの表彰等を行いました。

【こどもエコクラブ全国フェスティバル 2025～大阪に集まれ！未来につなぐ SDGs チャレンジャー～】

- ・開催日：2025 年 3 月 23 日（日）
- ・会場：大阪アカデミア、大阪府咲洲庁舎（共に大阪府大阪市住之江区）
- ・主催：公益財団法人日本環境協会（こどもエコクラブ全国事務局）
- ・共催：大阪府
- ・後援：環境省、文部科学省、こども家庭庁、消費者庁
独立行政法人 国立青少年教育振興機構、公益社団法人こども環境学会、
全国小中学校環境教育研究会、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、NHK
- ・特別協力：こくみん共済 coop〈全労済〉、タカラトミー、ミールケア
- ・出展企業・団体（17 団体）：
エフピコ、加山興業、関西電力、コカ・コーラ教育・環境財団、佐川急便株、
ジーエス・ユアサバッテリー 関西支店、全国牛乳容器環境協議会、象印マホービン、
関西大学×象印マホービン「関大マイボトル ECO ひいきプロジェクト」、ダイハツ工業、
鉄道貨物協会・日本貨物鉄道、トヨタ自動車、日本 C C S 調査、日本 WPA、
日本容器包装リサイクル協会、文化シャッター、日本環境協会 エコマーク事務局
- ・協力：All Japan Youth Eco-club、関西大学、奈良教育大学、
共立理化学研究所、キリンホールディングス、ケニス、明治
- ・参加者：465 名
 - 都道府県代表クラブおよび各作品受賞クラブ：320 名（子ども 183 名、大人 137 名）
 - 一般来場者・クラブ：14 人
 - 出展企業・団体担当者：60 名
 - 省庁、こどもエコクラブ自治体担当者、支援企業・団体担当者、他関係者：18 名
 - ユースボランティア：22 名
 - 大阪府および日本環境協会スタッフ：31 名



開催にあたって、小林史明副大臣と吉村洋文大阪府知事よりビデオメッセージをいただきました。また、大阪府広報担当副知事「もずやん」と大阪・関西万博のキャラクター「ミクミク」も登場し、全国フェスに賑わいを添えてくれました。企業団体ブースでは、これまでの出展実績のある企業に加え、近畿エリアの企業にも出展いただき、クラブとの触れ合いを通してメンバーの環境への意識の高さやクラブの活動の充実ぶりを感じていただきました。子どもたちからの積極的な発言や質問等に対する驚きの声も聞かれ、こどもエコクラブ事業を支援する意義を感じていただきました。



(3) 他団体からの表彰

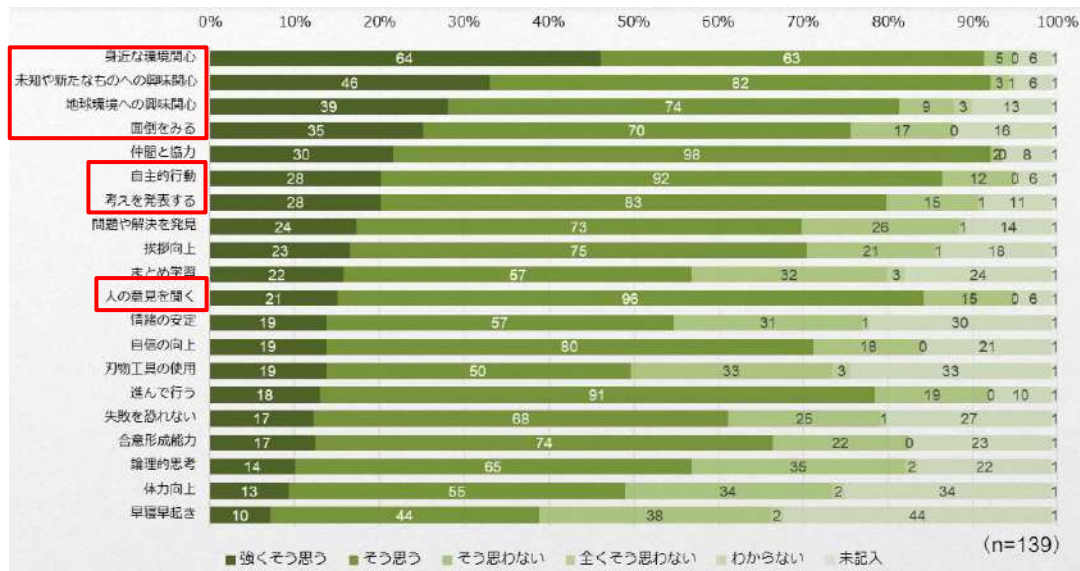
2024 年度も、多くのクラブがコンクール等で受賞・表彰されました。その一部をご紹介します。

コンクール／主催者	賞名	クラブ名
環境教育・ESD 実践動画 100 選／環境省	入選	豊田 SUNNY.農園 NPO 法人環境ボランティアサークル亀の子隊 三ツ星エコクラブ 認定こども園七松幼稚園 次世代のためにがんばる会子どもエコクラブ
第 30 回コカ・コーラ環境教育賞／コカ・コーラ教育・環境財団	活動普及部門 小学生優秀賞	色響(IRO&HIBIKI)
第 26 回「みどりの小道」環境日記コンテスト／グリーンクロスジャパン	個人の部 金賞・環境大臣賞ほか 各賞 団体の部 金賞	香美市こどもエコクラブ 鹿児島市立西伊敷小学校エコクラブ 阿室小中学校エコクラブ
エコマークアワード 2024／日本環境協会	優秀賞	三ツ星エコクラブ
「おおさかエコ活川柳・エコ標語」／大阪府	大賞、優秀賞	認定 NPO 法人びわこ豊穰の郷目田レンジャー MIYASHIRO エコ☆スターズ ガクアジサイクラブ せいわエコクラブ
第 5 回 Green Blue Education Forum コンクール 2024／Green Blue Education Forum 実行委員会	審査員奨励賞	だいやエコクラブ
2024 年度「第 3 回 2050 年の社会とわたしたちの暮らし」／日本環境教育学会	優秀賞、佳作	せいわエコクラブ 三ツ星エコクラブ あかぎネイチャーサイエンス

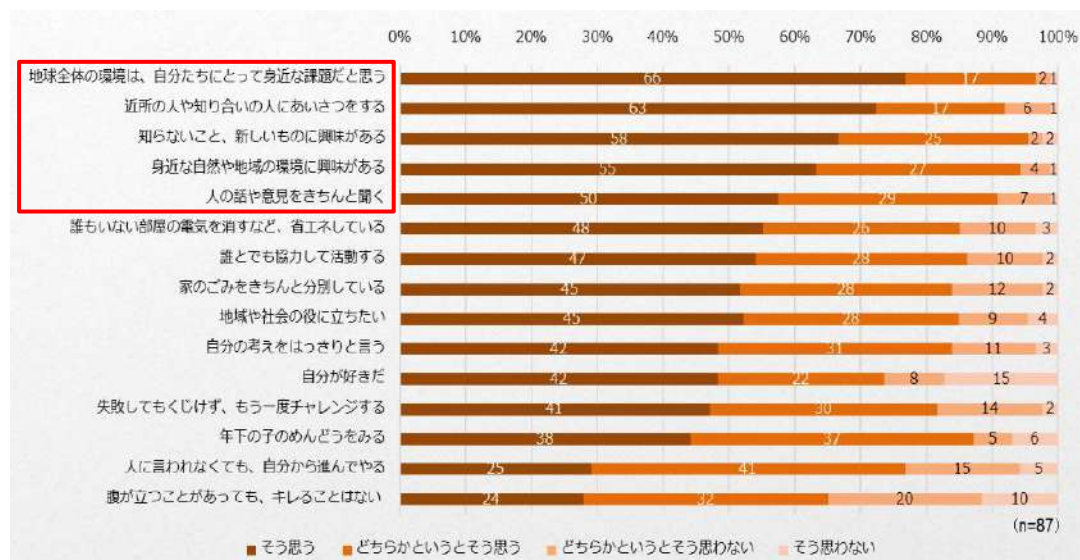
（４）アンケートによる子どもたちの成長の把握

クラブサポーター（大人）、メンバー（子ども）を対象にしたアンケートを毎年行うことで、活動を通して感じている子どもたち（自身）の成長ぶりを調査しています。環境への高い関心だけでなく、積極的な態度や自主的な行動力が育まれている様子や、環境問題を自分事として捉えていることが確認できました。

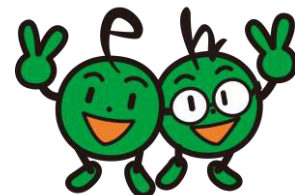
【サポーターアンケート結果より】



【メンバーアンケート結果より】



これらの結果を、こどもエコクラブ事業が「持続可能な社会に向けた人づくり」に貢献している成果として、対外的に広くアピールし、地域およびクラブの環境活動の活性化を推進してまいります。



地域事務局の取組事例

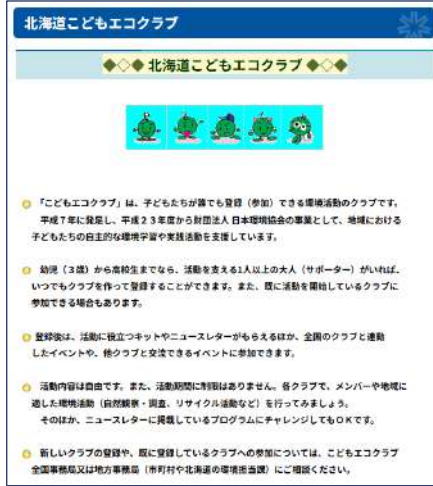
17

環境活動の推進



地域事務局(都道府県・市区町村)においても、さまざまな形で子どもエコクラブを推進しています。

(1) 子どもエコクラブの広報・登録促進



北海道ウェブサイト



鳥取県ウェブサイト

全国の地域事務局設置自治体でウェブサイトで子どもエコクラブを紹介、メンバー募集を呼びかけています。

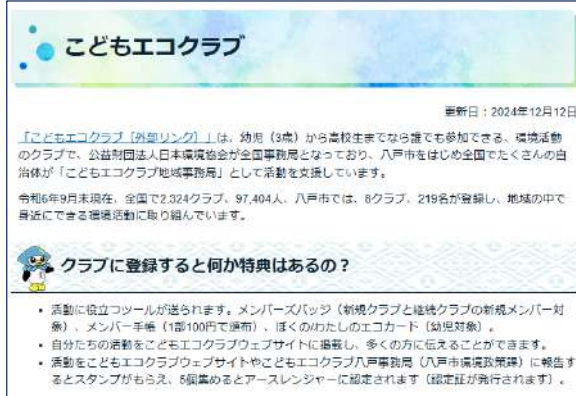
(2) 地域クラブのメンバー募集と運営



新宿区



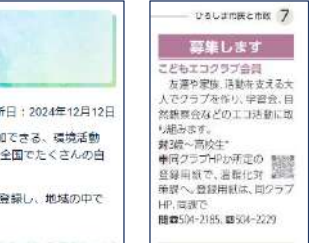
福島市



八戸市ウェブサイト



井原市ウェブサイト



広島市広報紙



魚沼市ウェブサイト

地域事務局の自治体でクラブを立ち上げメンバーを募集、年間を通して環境活動プログラムを実施しています。

(3) 活動支援・活性化促進

- 地域版ニュースレターや活動報告書等の発行・配布



群馬県



福岡県



秋田県



三重県

- 交流会や環境イベントの開催



鯖江市



岐阜市



岡山市

- クラブへの助成金・物品支援・講師派遣等

〔環境ふくい推進協議会〕	
子どもエコクラブ活動促進事業助成要領	
第1 目的	子どもたちの自主的な環境保全活動の実践を促すため、全国組織である子どもエコクラブへの登録を促進するとともに、子どもたちのエコクラブ活動を支援することで福井県における子どもたちの環境保全活動を全国に発信することを目的とする。
第2 助成先	次のとおりとする。 (1) 全国子どもエコクラブ登録団体であり、エコクラブ活動を実施している団体 (2) 全国子どもエコクラブが主催する「全国エコ活コンクール」の県代表として、「子どもエコクラブ全国フェスティバル」に参加する団体
第3 助成対象事業	(1) エコクラブ活動を実施する際に係る材料費および消耗費 (2) 「全国エコ活コンクール」の県代表として、「子どもエコクラブ全国フェスティバル」に参加するために要する費用の一部

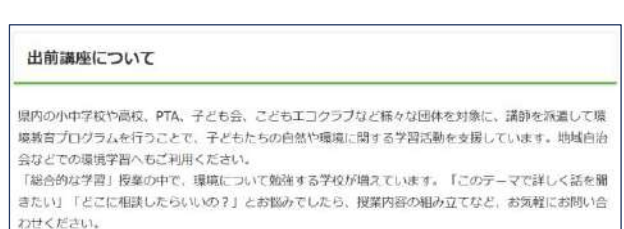
福井県

活動支援				
子どもエコクラブ地域事務局（大牟田市環境保全課）では、子どもエコクラブの活動支援を行っています。 講師の派遣や物品の貸出しのほか、企画の立案や運営のお手伝いなど何でもお気軽にご相談ください。 なお、子どもエコクラブの活動を支援するため、以下の物品の貸出しを行っています。 詳しくは、地域事務局（大牟田市環境保全課）までお問い合わせください。				
貸出物品一覧				
N.	名称	数量	備考	寄附者
1	たも網	12本	追加可能	マックスバリュ九州（株）及びレッドキャベツ（株）
2	ターボ	2セット	同上	同上
3	グルーガン（ホットボンド）	8セット	延長コードあり	同上
4	コードリール（30m）	1セット	4口アース付き	同上
5	投擲ボード（A4判）	40枚		マックスバリュ九州（株）

大牟田市



石巻市



沖縄県

【自治体によるこどもエコクラブ支援事例（全国事務局にて把握しているもの）】

（１）募集記事・ニュースレター・報告書の制作等	
募集記事・紹介記事	北海道、青森県、岩手県、秋田県、福島県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、富山県、福井県、山梨県、長野県、愛知県、三重県、滋賀県、大阪府、和歌山県、鳥取県、岡山県、福岡県、佐賀県、熊本県、鹿児島県、沖縄県、北海道函館市・釧路市・北見市、青森県青森市・八戸市、宮城県石巻市、福島県福島市・群馬県高崎市・桐生市、埼玉県川越市・深谷市・久喜市、千葉県習志野市、東京都中央区・新宿区・練馬区・武蔵野市・町田市、神奈川県横浜市・相模原市・平塚市・茅ヶ崎市・大磯町、新潟県長岡市、富山県高岡市、福井県鯖江市、長野県長野市・飯田市、愛知県豊田市・犬山市・みよし市、三重県志摩市、京都府木津川市、大阪府大阪市、奈良県斑鳩町、鳥取県倉吉市、島根県松江市、岡山県倉敷市・井原市、山口県宇部市、福岡県春日市・大野城市、佐賀県佐賀市、長崎県佐世保市、宮崎県宮崎市、鹿児島県鹿児島市・阿久根市
活動報告書の発行・配付	秋田県、茨城県、群馬県、三重県、北海道函館市、埼玉県川越市・越谷市、福井県鯖江市
ニュースレターの発行	岩手県、栃木県、群馬県、新潟県、三重県、福岡県、福井県鯖江市
（２）講師派遣、物品・助成金等の提供	
クラブへの講師の派遣	岩手県、秋田県、茨城県、福井県、京都府、奈良県、高知県、福岡県、佐賀県、沖縄県、東京都練馬区、京都府木津川市
クラブへの物品提供 (バンダナ・帽子などのオリジナルグッズや壁新聞制作用の模造紙等。地元企業等との連携含む)	秋田県、宮城県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、岩手県遠野市、栃木県真岡市、千葉県市川市、兵庫県神戸市
クラブへの助成金 (地元企業等との連携含む)	秋田県、埼玉県、福井県、長野県、滋賀県、鳥取県、福井県永平寺町、山口県山口市
（３）イベント・展示会・交流会	
環境イベントの開催 (こどもエコクラブのみ対象)	岩手県、群馬県、大阪府、埼玉県川越市、千葉県市川市、福井県鯖江市、岐阜県岐阜市、静岡県富士市
環境イベントの開催 (一般も参加可能)	群馬県、埼玉県、三重県、滋賀県、福岡県、長崎県、北海道札幌市、群馬県高崎市・渋川市・安中市・伊勢崎市・太田市・桐生市・榛東村、東京都武蔵野市、神奈川県大磯町、滋賀県草津市、奈良県斑鳩町、高知県香美市、福岡県春日市
壁新聞・絵日記展示会の開催	秋田県、島根県、福岡県、福井県鯖江市、岐阜県岐阜市、滋賀県草津市
交流会・活動発表会の開催 (単独イベントまたは環境イベント内の一プログラムとして)	岩手県、群馬県、三重県、滋賀県、大阪府、北海道札幌市、埼玉県川越市、神奈川県相模原市、福井県鯖江市、岐阜県岐阜市、滋賀県草津市
サポーター交流会の開催	群馬県
（４）クラブの結成	
クラブの設立・運営 (自治体においてクラブを結成、メンバーを募集し環境活動を実施)	北海道札幌市・北見市、宮城県南三陸町、福島県福島市・会津若松市、茨城県龍ヶ崎市、栃木県宇都宮市、群馬県前橋市、埼玉県坂戸市、千葉県市川市・習志野市、東京都中央区・新宿区・荒川区・板橋区・調布市、神奈川県相模原市・鎌倉市、長野県岡谷市・飯田市、静岡県富士市・藤枝市、愛知県豊田市、三重県志摩市、滋賀県大津市、京都府木津川市、兵庫県たつの市、鳥取県米子市
連絡会の結成 (クラブ支援者である大人との情報共有)	群馬県、青森県弘前市、静岡県富士市、福井県鯖江市、京都府木津川市

ご支援いただいた企業・団体



本事業に関して、様々な企業・団体の皆さまからの「パートナー」「寄附」等の支援・連携をいただき、実施・運営を行っております。

● パートナー（パートナー会員及びイベント協賛企業・団体）、寄附（合計 67 社）

アクサ損害保険	さくら薬局グループ クラフト	日本 WPA
朝日テクノ	産業環境管理協会	日本容器包装リサイクル協会
アポクリート	CCCMK ホールディングス	長谷工コーポレーション
アマノ	ジーエスユアサ バッテリー	パナソニックマーケティングジャパン
アントレックス	JTB	バンダイナムコホールディングス
イオン 1%クラブ	JBRC	日の丸リムジン
出光興産	ジャパンビバレッジエコロジー (リサイクルプラザ JB)	フォレストボックス
INNER ENERGY TECHNOLOGY	住商フーズ	ふくろうのはね
SG ホールディングスグループ(佐川急便)	3R 資源循環推進フォーラム	ブリヂストン
エネラボ	全国牛乳容器環境協議会	プロントコーポレーション
エフピコ	積水化学工業	文化シヤッター
塩ビ工業環境協会	象印マホービン	マツキヨココカラ & カンパニー
加山興業	ターナー色彩	ミールケア
関西電力	ダイハツ工業	三井住友海上火災保険
共立理化学研究所	タカラトミー	三菱地所レジデンス
麒麟ホールディングス	宝ホールディングス	三菱電機
グリーンクロスジャパン	鉄建建設	メルカリ
ケニス	鉄道貨物協会	山田養蜂場
コカコーラ環境教育財団	東京国際フォーラム	リード
こくみん共済 coop 〈全労済〉	トヨタ自動車	リトルスタジオインク
コンタクトのアイシティ	奈良健康ランド 奈良プラザホテル	龍角散
さいかつ農業協同組合	日本貨物鉄道	
嵯峨野	日本 C C S 調査	

● 寄附（その他、個人）

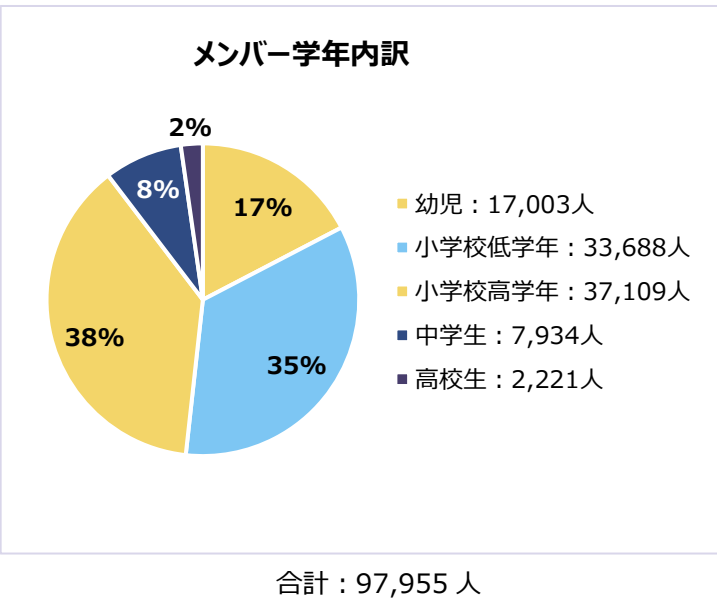
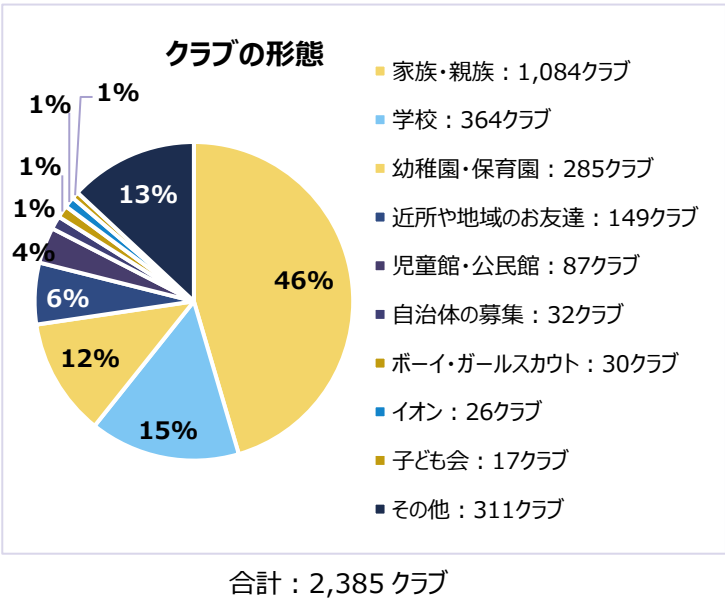
つながる募金	メルカリ寄付	READYFOR 継続募金
リサイクル募金	その他(団体 1、個人および子どもエコクラブ 8)	

登録データほか

● 2024 年度都道府県別登録データ

県名	クラブ数	メンバー数	サポーター数
北海道	39	780	134
青森県	25	1,234	240
岩手県	30	548	121
宮城県	19	2,924	346
秋田県	42	4,053	728
山形県	3	5	5
福島県	9	323	66
茨城県	21	1,403	235
栃木県	23	1,671	436
群馬県	164	1,279	422
埼玉県	142	15,087	3,160
千葉県	73	1,805	318
東京都	370	7,796	1,198
神奈川県	163	1,705	556
新潟県	25	659	89
富山県	35	998	145
石川県	4	83	32
福井県	32	1,963	191
山梨県	5	155	21
長野県	17	519	180
岐阜県	31	1,233	139
静岡県	71	2,294	553
愛知県	47	1,988	320
三重県	61	8,502	3,231

県名	クラブ数	メンバー数	サポーター数
滋賀県	62	5,414	477
京都府	13	314	67
大阪府	88	3,198	272
兵庫県	59	1,599	379
奈良県	9	132	50
和歌山県	5	165	20
鳥取県	32	3,179	1,118
島根県	7	140	85
岡山県	33	1,624	551
広島県	52	434	120
山口県	11	224	47
徳島県	4	204	9
香川県	5	44	22
愛媛県	6	39	17
高知県	12	204	64
福岡県	268	10,979	1,974
佐賀県	128	5,093	1,046
長崎県	22	838	229
熊本県	18	1,118	182
大分県	30	1,433	218
宮崎県	37	1,332	201
鹿児島県	19	1,054	157
沖縄県	14	187	46
総計	2,385	97,955	20,217



● 2024 年度地域事務局一覧（都道府県 47、政令市 20、市町村 472）

北海道	札幌市	函館市	旭川市	室蘭市	釧路市	北見市	網走市
	苫小牧市	三笠市	伊達市	石狩市	羽幌町		
青森県	青森市	弘前市	八戸市	五所川原市	十和田市	平内町	外ヶ浜町
岩手県	盛岡市	宮古市	北上市	遠野市	釜石市	奥州市	雫石町
	岩泉町						
宮城県	仙台市	石巻市	気仙沼市	多賀城市	利府町	女川町	
秋田県	秋田市	横手市	能代市	大館市	由利本荘市	大仙市	にかほ市
山形県	酒田市	新庄市					
福島県	福島市	会津若松市	郡山市	いわき市	喜多方市	相馬市	二本松市
	伊達市	会津美里町					
茨城県	水戸市	日立市	土浦市	古河市	龍ヶ崎市	北茨城市	笠間市
	取手市	つくば市	ひたちなか市	守谷市	坂東市	神栖市	茨城町
	東海村	大子町					
栃木県	宇都宮市	足利市	栃木市	佐野市	鹿沼市	日光市	小山市
	真岡市	大田原市	矢板市	那須塩原市	さくら市	那須烏山市	下野市
	上三川町	益子町	茂木町	市貝町	芳賀町	壬生町	
群馬県	前橋市	高崎市	桐生市	伊勢崎市	太田市	沼田市	館林市
	渋川市	藤岡市	富岡市	安中市	みどり市	榛東村	下仁田町
	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町	大泉町		
埼玉県	さいたま市	川越市	熊谷市	川口市	秩父市	所沢市	飯能市
	加須市	春日部市	狭山市	深谷市	上尾市	草加市	越谷市
	戸田市	入間市	朝霞市	志木市	新座市	久喜市	八潮市
	富士見市	三郷市	坂戸市	幸手市	鶴ヶ島市	吉川市	ふじみ野市
	三芳町	小川町	吉見町	寄居町	宮代町		
千葉県	千葉市	市川市	船橋市	木更津市	松戸市	野田市	茂原市
	成田市	佐倉市	習志野市	柏市	市原市	八千代市	我孫子市
	浦安市	印西市					
東京都	中央区	新宿区	江東区	品川区	世田谷区	中野区	杉並区
	豊島区	北区	荒川区	板橋区	練馬区	葛飾区	江戸川区
	八王子市	立川市	武蔵野市	三鷹市	青梅市	府中市	調布市
	町田市	小平市	東大和市	武蔵村山市	稲城市		
神奈川県	横浜市	川崎市	相模原市	横須賀市	平塚市	藤沢市	小田原市
	茅ヶ崎市	厚木市	大和市	綾瀬市	寒川町	大磯町	

新潟県	新潟市	長岡市	三条市	柏崎市	新発田市	十日町市	糸魚川市
	妙高市	上越市	阿賀野市	佐渡市	魚沼市	南魚沼市	粟島浦村

富山県	高岡市	魚津市	砺波市
-----	-----	-----	-----

石川県	金沢市	羽咋市	白山市	津幡町
-----	-----	-----	-----	-----

福井県	福井市	鯖江市	越前市	坂井市	永平寺町	若狭町
-----	-----	-----	-----	-----	------	-----

山梨県	甲府市	都留市
-----	-----	-----

長野県	長野市	松本市	上田市	岡谷市	飯田市	小諸市	茅野市
	佐久市	千曲市	坂城町	飯綱町			

岐阜県	岐阜市	大垣市	多治見市	関市	恵那市	美濃加茂市	各務原市
	可児市	笠松町	垂井町	揖斐川町			

静岡県	静岡市	浜松市	沼津市	熱海市	三島市	富士宮市	島田市
	富士市	磐田市	焼津市	藤枝市	御殿場市	袋井市	下田市
	裾野市	湖西市	菊川市	牧之原市	川根本町		

愛知県	名古屋市	豊橋市	岡崎市	一宮市	瀬戸市	半田市	春日井市
	豊川市	津島市	豊田市	安城市	蒲郡市	犬山市	江南市
	稲沢市	日進市	東浦町	南知多町			

三重県	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	鈴鹿市	尾鷲市	鳥羽市
	志摩市	玉城町					

滋賀県	大津市	彦根市	長浜市	草津市	高島市	日野町	愛荘町
	多賀町						

京都府	京都市	宮津市	京丹後市	木津川市
-----	-----	-----	------	------

大阪府	大阪市	堺市	豊中市	吹田市	泉大津市	高槻市	守口市
	枚方市	茨木市	八尾市	寝屋川市	河内長野市	大東市	和泉市
	箕面市	高石市	東大阪市	交野市	阪南市	熊取町	

兵庫県	神戸市	尼崎市	芦屋市	伊丹市	相生市	加古川市	宝塚市
	篠山市	たつの市					

奈良県	奈良市	天理市	桜井市	斑鳩町
-----	-----	-----	-----	-----

和歌山県	和歌山市	海南市	橋本市	有田市	御坊市	田辺市	新宮市
	紀の川市	岩出市	紀美野町	かつらぎ町	九度山町	高野町	湯浅町
	広川町	有田川町	美浜町	日高町	由良町	印南町	みなべ町
	日高川町	白浜町	上富田町	すさみ町	那智勝浦町	太地町	古座川町
	北山村	串本町					

鳥取県	鳥取市	米子市	倉吉市	若桜町	八頭町	三朝町	湯梨浜町
	琴浦町	北栄町					

島根県	松江市	浜田市	出雲市	益田市			
-----	-----	-----	-----	-----	--	--	--

岡山県	岡山市	倉敷市	高梁市	浅口市	矢掛町		
-----	-----	-----	-----	-----	-----	--	--

広島県	広島市	呉市	尾道市	福山市	大竹市	江田島市	
-----	-----	----	-----	-----	-----	------	--

山口県	下関市	宇部市	山口市	萩市	岩国市	周南市	山陽小野田市
	平生町						

徳島県	徳島市	阿南市					
-----	-----	-----	--	--	--	--	--

香川県	高松市	東かがわ市					
-----	-----	-------	--	--	--	--	--

愛媛県	松山市	今治市	西条市				
-----	-----	-----	-----	--	--	--	--

高知県	室戸市						
-----	-----	--	--	--	--	--	--

福岡県	北九州市	福岡市	大牟田市	久留米市	飯塚市	柳川市	行橋市
	小郡市	筑紫野市	春日市	大野城市	太宰府市	古賀市	嘉麻市
	朝倉市	みやま市	宇美町	志免町	桂川町	香春町	苅田町

佐賀県	佐賀市	唐津市	鳥栖市	多久市	伊万里市	武雄市	鹿島市
	小城市	嬉野市	吉野ヶ里町	みやき町	玄海町	有田町	江北町
	太良町						

長崎県	長崎市	佐世保市	諫早市	大村市	平戸市	南島原市	
-----	-----	------	-----	-----	-----	------	--

熊本県	熊本市	八代市	人吉市	荒尾市	水俣市	玉名市	山鹿市
	宇土市	上天草市	天草市	南小国町	益城町	山都町	芦北町
	あさぎり町						

大分県	大分市	別府市	日田市	佐伯市	杵築市	宇佐市	
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	--

宮崎県	宮崎市	都城市	延岡市	五ヶ瀬町			
-----	-----	-----	-----	------	--	--	--

鹿児島県	鹿児島市	鹿屋市	指宿市	日置市	霧島市	奄美市	姶良市
	大崎町	瀬戸内町					

沖縄県	那覇市	浦添市	沖縄市	宮古島市	金武町	与那原町	南風原町
	八重瀬町	竹富町					

全国エコ活コンクール受賞作品



● 壁新聞部門

環境大臣賞



「油山生物多様性新聞 2024」
ぶらぶらあぶらクラブ(福岡県福岡市)

文部科学大臣賞



「三ツ星エコ新聞 魚沼わくわくの森プロジェクト」
三ツ星エコクラブ(新潟県魚沼市)

日本環境協会賞



「みんなでつなげっぺ 茨城の自然」
逆川子どもエコクラブ(茨城県水戸市)

こくみん共済 coop 賞



「蓮彩町新聞」
いわき市立高坂小学校 SDGs 隊(福島県いわき市)

タラトミー賞



「Let's Eco☆スター Kubo」新聞
MIYASHIRO Eco☆スターズ(埼玉県宮代町)

大阪府知事賞



「やっぱ海はええなあ！みんなで守り育てようや！！大阪湾」
地球☆プロジェクトとあるた(大阪府大阪市)

ミールケア・エコまる賞 [対象: 幼児クラブ限定]



「バナナのみができるまで」
認定こども園たから幼稚園こどもエコクラブ(福岡県大牟田市)

● デジタル作品部門

優秀賞



「トンボの保全から資源のアップサイクルへ」
逆川こどもエコクラブ(茨城県水戸市)



←こちらから動画をご覧ください。



公益財団法人日本環境協会
こどもエコクラブ全国事務局
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5
TMMビル 5 階
TEL 03-5829-6359 E-mail j-ecoclub@jeas.or.jp